

よこすか景観 ニュース

第13号

発行 2013/01/01
よこすか都市景観協議会



秋谷の若命家長屋門

. Y O K O S U K A C I T Y .

～ 西地区の景観変遷 ～

秋谷「若命家長屋門」(秋谷2-14-11) 上写真

秋谷地域の中心に 15 代目当主の住む若命家長屋門があります。江戸時代このような長屋門は江戸幕府の許しがなければ建築できませんでした。

長屋門は明治 36 年頃藁葺屋根から瓦に葺き替えられ、昭和 40 年横須賀市民文化資産に登録されました。若命家の当主や地域の活動をしている「おおくすエコミュージアムの会」が中心に平成 15・16・17・18 年と修復工事を行い 110 年前の姿を保っています。

長屋門の腰には近くで切り出された暖かみを感じさせる佐島石が貼られています。(若命委員)

秋谷西海岸地域の景観



三浦半島の西海岸は、葉山御用邸方面から進むと、長者ヶ崎を境にして横須賀市になります。風景が一変し、明るく暖かく視野が開けます。



この西海岸通りは相模湾を一望でき、秋谷地域と呼ばれ、昔から風光明媚と温暖な地域で知られています。多くの有名人の別荘や、近代建築が続々と建てられており、テレビで紹介される建物が多くあります。



国道から一段上の山道は源頼朝も通った旧道です。作曲家で名随筆家の故・團伊玖磨さんの散歩道でもあり一年中花が咲くハイキングコースです。

時には地域活動の案内ガイドツアーが行われています。(若命委員)

芦名「淡島神社の流し雛」(芦名1-18-29)



淡島神社は紀伊、能登と共に日本三社の一つに数えられ、三浦十二天の摂社として知られています。また縁結び、安産の神社として、江戸時代にはすでに三浦半島一帯から信仰されていたようです。

淡島さまの日、毎年「流し雛」の行事は、桃の節句の3月3日におこなわれています。

この行事は一年間の人間の身についた穢れや災いを人形にたくして流す古事にもとづくものであり、また淡島の神(姫神)がうつろ船に乗せられて島流しにされたことにちなむものです。

「流し雛」当日には 3,000 人以上の多くの方が淡島神社を訪れ、供養される人形の数は 1,000 体とも言われています。(加藤委員)

西地区の昔と今



大崩海岸(出典:目で見るとよこすか100年)



久留和海岸

長者ヶ崎の南側は字名を大崩と言い、海に山が迫る急峻な地形が特徴です。下の写真の左端が大崩海岸です。今も昔も美しい丘陵と海が魅力です。